



湯来町みらい計画～湯来町のまちづくりに貢献～

キーワード

地域連携 / 地域貢献 / 他者評価

取組概要

「今後の目標や夢をもち主体的に学ぶ生徒」を目指し、総合的な学習の時間を中心に、NPO法人、地域団体等の延べ約200名と関わりをもち取組をした。学年ごとに湯来の「これまで」「今」「未来」と学習を進め、学年末は「自分の将来」を表現する。



基礎情報

全校生徒数：66名
 広島市の北西部に位置する佐伯区湯来町に所在しており、豊かな自然に恵まれている。
 キャリア教育系統図を作成し、総合的な学習の時間、特別活動を軸に取組を進めている。

取組の詳細

NPO法人「峠の森保全の会」「映画祭実行委員会」公民館、町内事業所等の地域の方と連携・協働し、地域を知り、魅力等を発信・貢献活動をする。

地域の方に依頼し、生徒のよかったところを書いてもらったカード（きりりカード）を掲示することによって、自己肯定感を高める。学年末には、学んだことを振り返り「自分の将来」を表現する。



第1学年「湯来町のこれまでの歩みを知ろう」

- 地域の歴史新聞作成（卒業生インタビュー）
- 竹林整備と竹細工 ○メンマパッケージ作成

第2学年「湯来町の今の魅力を発信しよう」

- メンマづくり、メンマを利用したレシピ作成
修学旅行・文化祭でのメンマ販売
- 1人1事業所での職場体験
- 湯来町の魅力発信パンフレット等づくりと分析

第3学年「湯来の未来のために町づくりに貢献しよう」

- 地域活性化のための映画祭の参画



成果

- 地域の現状と課題を考え具体的な活動をすることで、主体性と自己有用感を向上することができた。
- 地域貢献している方に出会うことで、これからの自己の生き方について考えを深めることができた。
- 地域の方から良い点についてのメッセージをいただくことが自己肯定感を高め、多面的・多角的な自己理解にもつながっている。

課題や今後に向けて

- 地域の課題も年々変化するため、持続可能な取組にするためにも、PDCAサイクルを確立し、地域と連携しながら内容の充実や見直しを図る。
- 現在の取組を継続的に進めていく上で、教科との関連及び現在湯来町で検討が進められている小中一貫校設立の視点からカリキュラムを見直していく。